

# 事業報告

## 【事業概要】

平成 29 度の事業執行は、平成 29 年 4 月理事会で決定したで事業計画に基づき行った。なお、事業執行にあたっては、6 月に開催した平成 29 年度通常総会での意見・提案等を踏まえ、事業の推進と充実を図った。

特に管理栄養士・栄養士の育成事業は、地域包括ケアシステムの構築と事業推進のため、基幹研修、拡充研修、委託事業を実施し専門職業人としてキャリアアップを図り高度な専門知識・技術の習得を目指すことに重点を置き、県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の達成と正しい知識の普及と実践への支援を進めてきた。さらに栄養の指導や支援を通して県民の個々の健全な食生活を支える地域社会作りと公衆衛生の向上に寄与する事業の展開を計画し実施した。

### 1. 栄養の科学と技術の振興事業

本事業は、県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究と料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、および、県等の健康政策立案への貢献などを通して、食と栄養の科学及び実用技術を振興させる事業である。

第 43 回福岡県栄養改善学会を開催し、栄養指導・食事療法・栄養管理、食育に関する調査研究および業務の改善成果など 11 演題が発表された。特別講演は、岐阜大学大学院医学系研究科内分泌代謝病態学教授 武田 純先生に「糖尿病予防のために炭水化物を上手に食べよう」について、第二次大戦後の食の変遷や巷で飛び乱れている「炭水化物ダイエット」や「糖質制限食」という言葉の基本的な視点を含め興味深い講演であった。台風の影響もあり 200 名余りの参加者であったが、先人が育んだ和食文化を誇りに思い、日本人体質に食事が及ぼす影響をさまざまな観点から理解することが重要であり国際比較に無理があると述べ、「和食」の進化について考え直す時期が来ているのではないかと結んだ。

### 2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成

本事業は、県民の QOL の向上、健康寿命の延伸を目的に、県民が質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的スキルとともに、一人ひとりのかけがえない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、生涯教育制度として実施される諸種の研修事業であり、基幹研修事業と拡充研修事業とからなる。

平成 29 年度の事業は以下の通りである。

### (1) 基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とした。

#### ・生涯教育研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「根拠に基づいた栄養管理」「栄養の指導」や「栄養管理の実施・モニタリング・評価・管理記録」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基幹研修の中軸をなす研修会である。初任者から中堅者を対象に卒後教育の補完教育として、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場として開催した。

#### ・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基本研修として県内の3地区（北九州、筑後、筑豊）において3回開催した。

### (2) 拡充研修事業(実務研修) (特定職域その他の研修事業)

拡充研修は、基幹研修を補完しそれぞれの職域の専門性を発展させる位置づけの研修とした。医療・福祉・公衆衛生・研究教育・学校健康教育・地域活動・勤労者支援の7職域の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催した。

### (3) 研修に関わる付随事業

#### ・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行

平成28年度診療報酬改定後施設基準の変更に伴い、一部改定版を平成29年2月に発刊した。

研修会で活用し、管理栄養士・栄養士への頒布・販売を実施した。

#### ・研修会案内(広報部)

当会が計画する研修会情報を「栄養ふくおか」として年4回、案内葉書として年1回を作成・送付し、会員や県民の研修機会拡大を図った。

#### ・日本栄養士会 会員WEBサービスの運用(広報部)

日本栄養士会が運営する会員WEBサービスシステムを利用し、会員や県民に研修会情報を提供した。

## 3. 健全な食生活のための県民の自律の支援 (県民支援部)

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める目的で事業を行った。

また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業を行った。

平成 29 年度の事業は以下の通りである。

(1) 栄養ケア・ステーション事業

栄養ケア・ステーションは、市町村や医療機関（診療所）、社会福祉施設等に栄養に関する業務について協力する事業であり、地域住民の健康維持・増進及び疾病予防・治療に寄与することを目的とするものである。29 年度の主な実施内容は、次の通りである。

(2) 平成 29 年糸島市在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修事業（糸島市委託事業）

糸島市地域ケア会議に参加し適切なアドバイスを提言できる様、育成研修会を実施。また、地域ケア会議、訪問 C 事業を活用した事業を実施した。4 委託事業

(3) 地域包括ケア会議推進支援事業

市町村が構築する地域包括ケアシステムを支援するため、市町村が開催される地域ケア会議にアドバイザーを派遣した。

(4) イベントにおける栄養相談事業

県民が多く集まる機会（イベント）において栄養相談・食事指導を行い、県民の食の自律を図るものであり対象は県民一般である。

・健康 21 世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を目ざし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催した。

・地域健康フェア・市民糖尿病教室・歯の健康教室

市町村・医師会・薬剤師会・自治会・地域諸団体と連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、実施した。

(5) 市民公開講座（セミナー）

県民の健全な食生活を自立的に営む力を育むために、栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が知識や知恵、実用技術の普及を行う事業である。

・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に 12 回（毎月第 2 火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行なった。

・健康セミナー

本会および看護協会、放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を 1 月 27 日（土）にナースプラザ福岡にて「身近な感染について考えよう」でセミナーを実施。

また、「食と健康推進フォーラム」は、県民が自主的に取り組むことができる健康づくりを支援し、県民の健康に寄与することを目的に 1 月 31 日に開催され、参加者 445 人と「食と健康」についての県民の意識の高さがうかがえた。

## (6) 栄養情報コミュニケーション事業（広報部）

### ・ホームページ事業

健康づくりや食育など県民を対象とした地域イベントの案内や栄養士による季節に応じた献立・県産農産物を使った料理レシピを掲載した。また、「栄養ふくおか」と連動し、地域における栄養ケア活動への積極的な参加を呼び掛けた。

平成 29 年度：ページビュー数 (PV) 211,976、訪問数 72,613 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

前年度に比べ、ページビュー数 (PV) 11.3%増、訪問数 18.6%増となる。

平成 30 年度の診療報酬・介護報酬同時改定に関連した情報提供により閲覧率が急増しており、実質的な情報のニーズがうかがえる。

## 4. 県民の健康を育む食環境の整備

県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人・物・仕組み）を有機的に結び付けその機能を改善・活性化させることにより、望まし食環境の整備を図る事業である。各行政機関における各種委員会や協議会等には積極的に参画し委員会を通じた連携・協働関係の構築に協力し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与した。

今年度の参画した主な委員会・協議会数は 18 会議である。

## 5. 法人運営・管理

重要な意思決定会議および主要な法人事業の運営に関しては、総会を平成 29 年 6 月 3 日、平成 29 年度福岡県栄養士大会・第 43 回福岡県栄養改善学会を平成 29 年 9 月 17 日に開催した。重要な意思決定会議（理事会）を年 6 回開催した。